

土木建築委員会 県外所管事務調査の概要

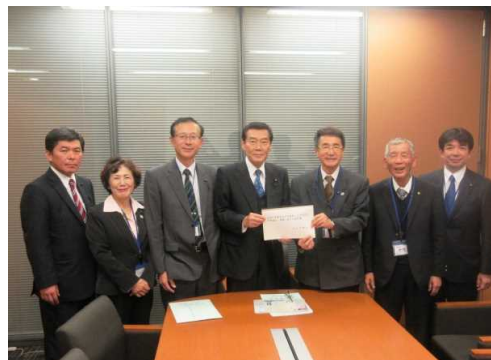
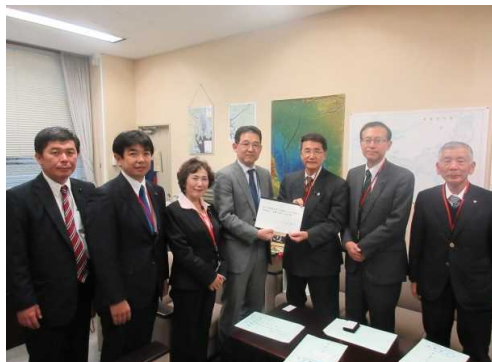
◆調査日程 平成29年11月14日(火)～11月16日(木)

◆調査先・調査内容

①国土交通省、衆議院、参議院（東京都千代田区霞が関、永田町）

調査内容：九州北部豪雨災害及び平成29年台風第18号災害に係る要望活動

九州北部豪雨災害及び平成29年台風第18号災害について、国土交通省及び県選出国會議員に対し、早期復旧・復興に向け要望活動を実施した。



②国土交通省国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市旭）

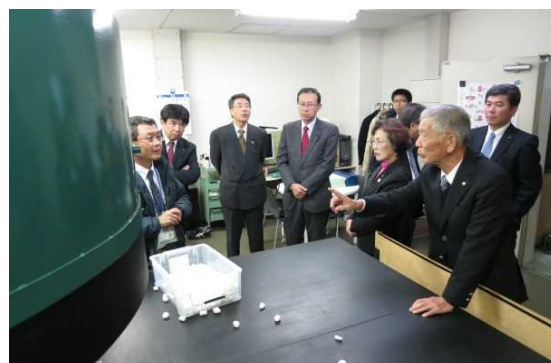
調査内容：河川・土砂災害対策に係る研究成果等について

国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研、NILIM）は、社会資本・住宅分野で唯一の国の研究機関として、道路・河川・港湾などの整備・活用・維持管理等に関する研究などを行っており、熊本地震や九州北部豪雨の際には、本県においても、ダム被災箇所、橋りょう変状箇所やJR橋りょう流失箇所等において、二次災害防止や復旧等に関する高度技術指導を実施した。

当研究所では、組織の概要や研究成果（「SAR衛星の災害対応への活用」、「都市の浸水予測システムと中山間地中小河川水害リスク情報提供手法の開発」）について聴取した後、海洋沿岸実験施設及び竜巻シミュレーション実験施設において研究の状況を調査した。

<主な質疑等>

- ・ SAR衛星観測データの具体的な活用方法及び県、市町村への伝達手法について
- ・ 頻発する水害に対応するための河川堤防に関する基準について



③国土交通省関東地方整備局下館河川事務所（茨城県常総市新石下）

調査内容：鬼怒川緊急対策プロジェクトについて

「平成27年9月関東・東北豪雨」では、平成27年9月9日から3日にかけて線状降水帯と呼ばれる積乱雲が鬼怒川流域に覆い被さるように発生し、茨城県や栃木県の各観測所で観測史上最多の雨量を記録した。鬼怒川下流域では、常総市上三坂地区での堤防決壊や7か所での溢水のほか、堤防の漏水や護岸崩壊など、大きな被害が発生した。

たびたび大きな水害に見舞われてきた当地域では、水防災意識社会の再構築を目指し、国、茨城県、鬼怒川下流部の7市町（常総市、結城市、下妻市、守谷市、筑西市、つくばみらい市、八千代町）が主体となり、ハード・ソフトを一体化した緊急的な治水対策「鬼怒川緊急対策プロジェクト」を進めており、国交省下館河川事務所激甚災害対策特別緊急事業推進室からプロジェクトの概要を聴取した後、決壊した上三坂地区の堤防復旧工事現場を調査した。

<主な質疑等>

- ・用地確保における地域住民の協力について
- ・復旧後の堤防高について
- ・堤防が決壊した上三坂地区の住民帰還及び土地利用について

